

松山薫著「茅ヶ崎方式 国際英語基本 4000 語」茅ヶ崎出版 1999 年 9 月 10 日刊を読む

基本英単語の身につけ方 - 本書の使い方 -

- 1 . まずは寝ころんで、あるいは電車のなかで、通読してください。全文カセットのある方は車の中やお勝手仕事をしながら聴くこともできます。そうすると、どこに、どんなことが書いてあるか一応頭のなかに入ります。あとで「この件については、あそこに何か書いてあったな」と思い当たることが大切です。
- 2 . 茅ヶ崎方式のすべての教材は、特殊な用語を除き 99.0 %、この 4,000 語で作成されていますから、学習には辞書は不要です。この本を辞書として使ってください。辞書を使うのはこの 4,000 語をマスターしてからのことです。この 4,000 語をマスターすれば、英々辞書も使えるようになります。そうすれば、辞書の本当のありがたさ、その編纂に携わった先人たちの血の滲むような努力の結果もくみ取れるようになります。
- 3 . 単語を覚えるには基本的には repetition 以外に方法はありません。茅ヶ崎方式の各教本を順序よく学習するなかで、かなりナジミの語が多くなるはずですが、これをコア(中核)として、4,000 語すべてをマスターしていくのですが、この本の単語カセット(英 - 日、日 - 英)を含めて、自分にあった方法での repetition を考えてください。それが大人の学習です。そしてマスターできたと思う語をこの本の上で蛍光ペンで消してゆき、残った語を集中的に攻撃します。とにかく 4,000 語を早くマスターした人が勝ちなのです。昔軍人勅諭を覚えられずに自殺した兵隊がいましたが、この 4,000 語を覚えなければ死刑だということになれば、3 ヶ月あれば、ほとんどすべての人が覚えられますでしょう。事実、茅ヶ崎方式英語会の講師のなかには 0 から出発して 3 ヶ月で完全にマスターした人もいます。
- 4 . こうして 4,000 語をマスターすれば、英語というモンスターに立ち向かう刀を手に入れたこととなりますが、刀は使わないとサビてきます。L-2 クラス以上に進んだ人は是非日本で発行されている英字新聞を(できれば毎日)読んでください。次の英文はこの本の原稿を出版社に渡した日の JAPAN TIMES の一面の記事です。
つまり、4,000 語をマスターした人は辞書がなくても英字新聞を読めるようになっているのです。新聞を読むことによって 4,000 語はあなたのなかに定着していきます。
- 5 . そうなったら、もう一度、全部を通読してみてください。なるほど、そうだったのか、と思いついた点が多々あるはずですが、そうして蛍光ペンで全部のページが埋め尽くされるならば、あなたは英語を学ぶ上で、もっとも基本的な事柄はほぼ身につけたこととなります。

[コメント]

英語で大切なのは、中高生レベルの文法を身につけ、誤りの少ない品性の高い話し方と書き方をマスターすること。同時に、単語数を増やし、書いてあることが読め、相手が話していることが聴き取れること。基本英単語の身につけ方には様々な方法があるが、実用英語の分野では知る人ぞ知る松山薫先生の茅ヶ崎方式は意を決して行う短期間集中学習には最適。お試し下さい。

- 2009年10月19日 林明夫記 -